

ヒト・モノ・カネの移動からみた 日本帝国と環太平洋世界

日本・アメリカ大陸関係史のフロンティア

19世紀後半から20世紀前半にかけて、ハワイ・北米・南米・朝鮮・満洲—今日でいえば「環太平洋世界」—日本人の大規模な移動が生じたことは、よく知られている。本シンポジウムは、こうしたヒトの越境的な移動によって、それぞれの地域における政治権力、社会経済、そして移動にさまざまに関わる人々の認識のあり方が、日本帝国の膨張にしたがってどのように不可逆的に変化していったかを、アメリカ大陸を重要な場とする太平洋世界の視点から問いなおす試みである。

開会挨拶と趣旨の説明 前田 亮介 東 栄一郎

パネルⅠ 太平洋世界の外交ルートと金融ルート（日本語）

司会：東 栄一郎（ペンシルベニア大学教授）

討論：清水 さゆり（ライス大学教授） 浜岡 鷹行（外交史料館）

五百旗頭 薫（東京大学教授）

「日本の移民政策：歴史と教訓」

柳田 利夫（慶應義塾大学名誉教授）

「新大陸への出稼ぎと家族ストラテジー」

前田 亮介（東京大学准教授）

「在外同胞に投資しない国家：横浜正金銀行と戦前日系社会」

パネルⅡ ミクロストリアから移民ネットワークへ（英語）

司会：上田 薫（スタンフォード大学フーバー研究所キュレーター及びリサーチ・フェロー）

討論：飯島 真里子（上智大学教授）

ジョルダン・サンド（ジョージタウン大学および國學院大學教授）

東 栄一郎（ペンシルベニア大学教授）

「占領下日本における日系アメリカ人二世兵士の英雄論の興隆と再軍備問題の連関」

佃 陽子（成城大学准教授）

「郷里送金のミクロストリア：1930年代横浜正金銀行ロサンゼルス支店の送金票の分析から」

ハナ・シェパード（イエール大学助教授）

「地方の帝国主義者たち：アジア太平洋世界における「郷土」と「帝国」の拡張的観念」

パネルIII 北東アジアのメディア・言論・国境を越えたネット ワーク（日本語）

司会：前田 亮介

討論：バラク・クシュナー（ケンブリッジ大学教授） 川島 真（東京大学教授）

塩出 浩之（京都大学教授）

「19世紀後半の東アジアにおけるヒトの移動と新聞ネットワーク」

佐藤 みずき（東京大学大学院生）

「日ソ国交樹立交渉での通信員交換1922-25：「ヒトの移動」・「情報流通」・赤白ロシア人との接触」

木村 健二（下関市立大学名誉教授）

「『満洲移民』に帰結する日本人移民送り出し政策と言説」

総括コメント 五百旗頭 薫（東京大学教授）

日時：2025年7月13日（日）午前9時～午後6:10

場所：東京大学本郷キャンパス法学部 1号館 25番教室



入場料無料

要オンライン登録

会場参加のみ オンライン参加不可

共催：東京大学大学院法学政治学研究科附属
近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫 及び
スタンフォード大学フーバー研究所

問い合わせ：ryosukemaeda[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp

またはkueda[at]stanford.edu

[at]を@に書き換えて送信してください。